

2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重

拡 特別支援教育の推進

医療的ケア児支援強化事業費（教育分） 38百万円
特別支援学校校舎等整備費 242百万円

⑨ 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援

- 医療的ケアが必要な児童生徒の安心安全な通学環境を確保するため、通学時に必要な福祉タクシーの利用に対する助成や看護師配置等に対する支援を実施

⑨ 特別支援学校の児童生徒増対策

- 児童生徒が急増している特別支援学校においてホームルーム教室を増設

向日が丘支援学校の再整備

- 向日が丘支援学校の改築に向け、既存校舎の解体設計を行うとともに、仮校舎改修工事を実施

支援学校		仮校舎
令和4年度	解体設計	改修工事
5年度	解体工事、埋文調査	仮校舎移転
6年度～	解体工事、埋文調査、建設工事	

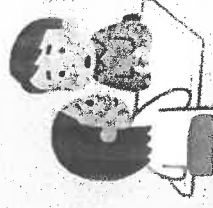


【現在の向日が丘支援学校】

スクールカウンセラー等の配置・派遣

- 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、スクールカウンセラーやまなび・生活アドバイザー（スクール・ソーシャル・ワーカー）等の学校への配置・派遣を昨年度に引き続き拡充

- スクールカウンセラーの未配置校派遣 3か月に1回 → 月1回に拡充
- まなび・生活アドバイザーの未配置校派遣 3か月に1回 → 月1回に拡充
- 心の居場所サポーターの配置 小・中学校38校 → 希望する小・中学校全校に配置



※配置等の拡充は半年間の措置とし、その後は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて検討

3 健やかな身体の育成

部活動の推進

地域一体型部活動推進事業費 44百万円

部活動指導員の配置

- 高校部活動と地域等との連携を強化するため、府立高校における部活動指導員の配置を拡充

中学校	府立高校
配置数 70人程度	配置数 10人→30人程度に拡充

※部活動指導員：教員に代わり部顧問業務全般を担う外部人材



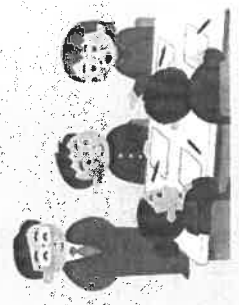
4 学びを支える教育環境の整備

拡 学びのセーフティネット

高校生等修学支援事業費（一部） 617百万円

○ 公立高校生等の教育費負担軽減のために住民税非課税世帯に対して支給している「奨学のための給付金」について、給付額を増額

対 象		給付額（年額）
全日制 定時制	第1子	110,100円 → 114,100円（+4,000円）
	第2子以降	141,700円 → 143,700円（+2,000円）
通信制		48,500円 → 50,500円（+2,000円）



拡 府立学校特色化の応援

府立学校特色化応援ファンディング事業費 30百万円

○ 府立学校の特色化・魅力化を更に推進するため、「ふるさと納税」により府立学校を応援いただいている「京都府母校応援ふるさと事業」をリニューアル

- 寄附金が学校でどのように使われるかよりわかりやすくするために、各学校の特色ある取組内容をより具体的に「プロジェクト化」するとともに「応援希望額」等を明示

※ふるさと納税

選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則全額が控除される制度



働き方改革の推進

令和の京都市教育指導体制推進費（一部） 286百万円（再掲）
 教員業務支援員配置事業費 184百万円（再掲）
 いじめ防止・不登校支援等総合推進事業費（一部） 261百万円（再掲）
 京都市「学力向上教育サポーター」事業費 166百万円（再掲）
 京都市「教育DX」推進事業費（一部） 38百万円（再掲）
 地域一体型部活動推進事業費 44百万円（再掲）

○ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、昨年度に引き続き、教員の事務作業を補助する教員業務支援員やスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等への配置・派遣を拡充

外部・専門人材	内 容	配置・拡充内容
【拡充】 小学校専科教員【再掲】	教科専門の教員	英語・理科：50人程度
教員業務支援員	教員の事務補助	小→全ての小・中・高・特支に配置
スクールカウンセラー【再掲】	児童生徒等の心のケア	未配置校派遣回数：3月に1回→月1回 府立高校配置回数：月4回→月5回
まなび・生活アドバイザー【再掲】	福祉の専門家	未配置校派遣回数 3月に1回→月1回
【新】 情報通信技術支援員【再掲】	学校のICT活用のサポート	全府立高校・特別支援学校に配置
スクールロイヤー	学校諸課題解決のための法務専門家（教育委員会事務局内に配置）	
【拡充】 部活動指導員【再掲】	部活動顧問業務	中学校配置数：70人程度 府立高校配置数：10数→30人程度に拡充

※教員業務支援員、スクールカウンセラー及びまなび・生活アドバイザーの拡充は、半年間の措置とし、その後は感染症の状況を踏まえて検討

府立学校の施設整備

特別支援学校校舎等整備費（一部）	22百万円（再掲）
学校施設長寿命化推進費	1,466百万円
府立高校トイレ洋式化推進事業費	449百万円
向日が丘支援学校校舎等整備費	220百万円（再掲）
老朽校舎等改修費等	584百万円

〔新〕特別支援学校の児童生徒増対策【再掲】

- 児童生徒が急増している特別支援学校においてホームルーム教室を増設

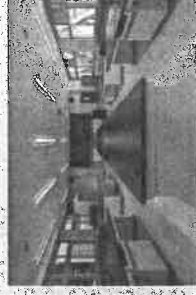
※実施校：宇治支援学校・丹波支援学校・中丹支援学校

学校施設長寿命化対策

- 施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するための予防保全型改修の実施

※実施予定

（大規模改修）工事4校 設計2校（空調改修）工事3校 設計6校（体育施設改修）工事2校 設計3校
（グラウンド）工事1校 設計1校（外壁・屋上防水）工事5校 設計5校



府立高校トイレ洋式化整備

- 府立高校のトイレ洋式化を推進し、学校における学習環境及び

衛生環境を向上 ※実施予定 工事15校



向日が丘支援学校の再整備【再掲】

- 向日が丘支援学校の改築に向け、既存校舎の解体設計を行うとともに、仮校舎改修工事を実施

老朽校舎改修等

- 老朽化が著しい施設設備の維持・改修など、安心・安全対策を実施